

# I 平成24年度事業報告書

## I-1 事業の概要

### 第1 世代や分野を超えた事業の推進

NPO・ボランティア活動を支援するとともに、県民の地域活動の参加を支援するなど、様々な県民活動の促進を行いました。  
また、活動団体やNPOとの協働により、「彩の国いきいきフェスティバル」など、世代間交流を促進する事業を実施しました。

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
<b>1 彩の国いきいきフェスティバル開催事業</b>	県民活動総合センター利用団体や県内各地で活動している団体に、世代を超えた交流と日ごろの活動の成果を発表する場を提供するとともに、財団のPR機会としてのイベントを実施した。	11/4開催	14,000人	11/4開催	21,000人
<b>2 彩の国市民活動サポートセンター運営事業</b>	NPO活動等の拠点として整備した彩の国市民活動サポートセンターを運営し、市民活動を支援するための相談、情報提供、活動の場の提供等を行った。併せて、ボランティア活動に関する相談を実施した。	通年実施	—	通年実施	利用者数 16,480人 相談件数 981件
<b>3 市民活動支援事業</b>					
(1)NPO基礎講座(直営版)	NPO活動の活性化を図るため、税務会計やマネジメントなど組織運営に必要な知識を学ぶ講座を実施した。	1講座	40人	1講座	66人
(2)NPO基礎講座(地域版)	県地域振興センター等と協働で、NPO法人の設立準備や運営に役立つ講座を実施した。	4会場	各40人	4会場	311人
(3)コミュニティ・ビジネス講座	地域が抱える課題を、地域住民自らが主体となって、ビジネス的手法で解決するコミュニティビジネスについて学ぶ講座を実施した。	1講座	20人	1講座	27人
<b>4 いきいき活動支援事業</b>					
(1)活動団体協働参加事業	県民活動団体の資質向上及び団体活動の活性化を図るため、財団の設立趣旨に沿った分野の団体と協働で研修会等の事業を実施した。	6講座	各40人	6講座	616人
(2)公演発表等支援事業	音楽、演劇、美術等の文化芸術分野の活動団体を中心に、様々な活動成果の発表の場として、イベントを実施した。	2回	各200人	2回	568人
(3)登録団体支援事業	登録活動団体に対して、広報活動の支援、発表の場の提供等を実施し、団体活動の活性化を支援した。	通年実施	—	通年実施	登録団体数160団体
(4)次世代育成支援事業	子育て中の母親や親子が気軽に参加できる交流・情報交換会や子育て力の向上に関する講座、子ども向け遊び体験学習を実施した。	子育て支援 2回 おしゃべりサロン11回 遊び体験 12回	1,480人	子育て支援 2回 おしゃべりサロン11回 遊び体験 12回	8,406人

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
(5)映像ボランティア実践講座(シネマランド)	ボランティア団体との協働により、幼児期から低学齢期の子どもを対象とした映画(名作アニメ)を上映した。	12回	各50人	12回	1,140人
(6)定年準備支援講座	定年退職前後の高齢者を対象に、地域活動への参加を促進するための基礎知識や情報を提供する講座を実施した。	1講座	30人	1講座	25人
(7)ボランティア・NPO体験講座	ボランティアやNPO活動についての基礎知識を学ぶとともに、体験実習を通して県民の社会参加を促進する講座を実施した。	1講座	20人	1講座	17人
5 NPO広報力強化事業	新たな公共サービスの担い手としての役割が期待されているNPO法人の活動基盤を強化するため、ホームページのコンテンツ作成支援等を行い、情報発信力の向上を図った。	通年実施	—	基礎講習 1回 個別支援 1回	基礎講習 68団体 強化講習 21団体
6 NPO活動促進助成事業	県内のNPO法人の活動を促進するため、埼玉県NPO基金を活用したNPO法人への助成金交付に係る審査事務等を実施した。	通年実施	—	通年実施	助成団体数 34団体
7 地域活動促進講座開設事業					
(1)パソコン講師養成講座	IT機器の操作技能を人に教えるための知識・技能を習得し、ITに関する指導者を養成することにより、ITを活用した地域活動を促進する講座を実施した。	1講座	30人	1講座	9人
(2)シニア情報生活アドバイザー講座	高齢期の生活に密着した、情報技術(パソコンやネットワーク)の楽しい活用方法を教えることができるシニア情報生活アドバイザーの更新講座を実施し、その活動を支援した。	1講座	12人	1講座	17人
(3)現代的課題講座	現代の社会情勢の中で、多くの人が直面する今日の問題やトピック的なテーマを取り上げ、専門家による講演会等を開催し、地域での活動等に役立つ知識を学ぶ講座を実施した。	6講座	450人	7講座	983人
(4)救急法基礎講習・救急法救急員養成講習連続コース	日本赤十字社埼玉県支部と連携し、万が一の事故や急病など生命に危険を伴う場合の一次救命処置について学習するとともに、日常の病気やけがの手当の仕方や災害時の対処について、正しい知識と技術を学習するための講座を実施した。	1講座	20人	1講座	11人
(5)地域探訪講座	市町村やNPOなどと連携して、郷土研究者等を講師に、県内の名所や旧跡を訪ねる講座を実施した。	1講座	30人	2講座	43人

新

新

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
<b>8 指導者養成研修事業</b>					
(1)講師体験プログラム事業					
ア 市民講師塾	生涯学習活動で培った知識・技能を活用し、地域で講師として活動するためのノウハウを学ぶ講座を実施した。	1講座	30人	1講座	28人
イ まなびあいセミナー	市民講師塾受講生等に対して講師を体験する機会を提供し、講座終了後、市民講師として登録した。	10講座	300人	9講座	217人
ウ 市民講師活用講座	市民講師として登録した方を対象に、県内生涯学習機関での活動の場を提供した。	10講座	300人	9講座	189人
エ 市民講師交流会	市民講師相互の情報交換・交流の場を提供し、市民講師の活動を支援した。	1回	30人	1回	9人
(2)市民講師協働講座	市民講師に活躍の場を提供するため、市民講師との協働企画による夜間講座を開催した。	4講座	80人	4講座	111人
<b>9 情報センター運営事業</b>					
(1)情報センター運営事業	県民活動に関する図書・資料を収集・整理し、情報提供するとともに、インターネット検索コーナーの提供により、県民活動の支援を行った。	通年実施	—	通年実施	利用者数49,259人
(2)有償資料頒布	県民活動の援助・促進を図るため、県が発行する行政資料等(県民手帳含む)を利用者に有償(実費)で頒布した。		300冊		208冊

## 第2 多様な学習機会の提供

「資格講座」、「文化教養講座」など、多様な学習機会を提供することにより、県民一人ひとりの生涯学習の充実を図りました。

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
<b>いきいき生活講座開設事業</b>					
(1)資格取得講座	生涯学習の一環として日常生活にも役立ち、資格取得に有益な知識を学ぶ講座を実施した。運営を専門機関に委託し、効率的な事業展開を図った。(行政書士講座、ケアマネジャー講座、TOEIC対策講座等。)	16講座	700人	21講座	699人
(2)いきいき公開講座	県民の生活を豊かで潤いのあるものとし、新規利用者を開拓して施設の利用促進につなげるために音楽コンサート等を実施した。	2講座	1,000人	3講座	1,221人
(3)情報化対応講座	情報弱者がパソコン技能の習得をしやすい講座や、パソコン技能を仕事や社会に活かせる講座を実施した。(高齢者向けに長い時間をかけて実施する入門講座、パワーポイント、アクセス、ホームページ講座等。)	28講座	885人	28講座	739人
(4)文化教養講座	県民の高度で専門的な生涯学習への関心と期待に対応したテーマを取り上げ、生活のなかの文化の向上を目指す講座を実施した。(文学や歴史などをテーマとした講座。)	6講座	440人	9講座	692人
(5)生活趣味講座	県民の健康と生きがいづくりの一助として、生活・趣味等に関する講座を開設し、県民の生活を豊かで潤いのあるものとするを目的として実施した。(茶道教室、料理教室、英会話教室等。)	7講座	190人	10講座	365人
(6)大学連携講座 (けんかつオープンカレッジ)	県民の多様化した学習ニーズに対応するため、県内にキャンパスをもつ大学の特性を生かし、相互に連携することにより、県民に質の高い生涯学習の機会を提供した。	10講座	300人	10講座	293人
(7)ジャズライブ in けんかつ	著名なジャズ演奏者を招いたコンサートを開催し、上質の音楽を身近で鑑賞する機会を提供した。(レストランと連携し、夜間に開催した。)	10講座	2,100人	12講座	2,153人
(8)けんかつ寄席	埼玉にゆかりのある落語家などを招き、伝統文化としての落語を鑑賞する機会を提供するとともに、子供が落語に親しむことのできる寄席を実施した。	3講座	390人	3講座	853人

新

### 第3 県民活動総合センターの利用促進

県民活動総合センターの指定管理者として、施設の有効活用を図るため、工夫を凝らしたPR活動を行ったほか、利用料金収入の増加につながる事業を実施しました。

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
<b>1 県民活動総合センター管理事業</b>					
(1)総合案内事業	施設を適切に維持管理し、県民の利用に供した。 ワンストップサービス、インターネット予約などを実施し、利便性を向上させた。	通年実施	利用者数 712,000人 利用率 62.0%	通年実施	利用者数 767,144人 利用率 66.2%
(2)施設サービス促進事業					
ア トレーニング講習会実施事業	トレーニング室利用者の安全を確保するため、同室利用希望者を対象とした講習会を開催した。	10回	450人	10回	323人
イ 保育サービス運営	子育て世代の活動を促進するため、主催講座参加者に対して講座時間中の未就学児預かりサービスを行った。	通年実施	437時間	通年実施	712時間
ウ 陶芸制作室釉薬提供	陶芸制作室利用者の利便を図るため、釉薬を提供した。	通年実施	5回	通年実施	3回
エ 宿泊利用促進事業	宿泊利用促進券を活用し、新規利用の獲得、リピーターの確保を図り、宿泊利用の促進を図った。	通年実施	—	通年実施	—
<b>2 飲食提供事業</b>	施設利用者に対して食事を提供するとともに、コンビニエンスストアを設置・運営し利便性を高めた。	通年実施	—	通年実施	—
<b>3 埼玉の魅力発信コーナー運営事業</b>	埼玉にゆかりのある常設展示や企画展示を行うとともに、県産品の紹介・販売を行い、地域の魅力を発信した。	通年実施	—	通年実施	—
<b>4 広報事業</b>	県民活動の助長促進を図るため、広報誌の発行やホームページの作成・更新等の管理をはじめ、定期的なメール配信などの各種広報活動を実施した。	広報紙けんかつ 年12回 各13,300部	—	広報紙けんかつ 年12回 各13,300部	—
<b>5 けんかつ利用促進事業</b>					
(1)けんかつ鉄道フェア	県内の鉄道会社と連携し、鉄道に関する展示、実演等を開催し、鉄道に関する理解を深めるとともに、県民活動総合センターの賑わいの創出、利用者層の拡大を図った。	11/23開催	3,000人	11/23開催	3,800人
(2)人づくり・ものづくりフェア埼玉	埼玉県、職業能力開発協会等と共催で、ものづくりの魅力、楽しさの体験の場を提供し、ものづくりに対する理解を深めるとともに、県民活動総合センターの賑わいの創出、利用者層の拡大を図った。	10/20・21開催	—	10/20・21開催	25,000人

新

#### 第4 いきがいと健康づくりを増進する事業の充実

高齢者の生きがいづくりや健康づくりを充実させるため、地域活動交流スペース(高齢者いきがい支援センター)を運営したほか、「全国健康福祉祭(ねんりんピック)への埼玉県選手団派遣」、「情報誌発行事業」などを実施しました。

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
<b>1 高齢者いきがい支援センター運営事業</b>					
(1)地域活動交流スペース等の運営	高齢者を対象に、生きがいづくりや健康づくりを推進するため、県民活動総合センターの施設機能を有効に活用し、高齢者いきがい支援センター(地域活動交流スペース、健康サポートコーナー、ミーティングルーム)を運営した。	通年実施	—	通年実施	—
(2)世代間交流事業	世代を超えて地域の多くの人と出会い、交流できる場を創出することを通して、高齢者が地域での子供の育ちに積極的に関わるきっかけづくりを図った。	3回	各50人	3回	434人
(3)健康セミナー	高齢者が健康的な毎日を送るのに役立つ知識を学ぶ講座を実施し、ライフスタイルを見つめ直す機会を提供したほか、高齢者の健康の維持増進に係る個別相談を実施した。	健康セミナー 1回 健康相談 1回	100人 20人	健康セミナー 4回 健康相談 1回	496人 36人
<b>2 全国健康福祉祭(ねんりんピック)埼玉県選手団派遣事業</b>	高齢者の健康増進と社会参加の促進を図るため、第25回全国健康福祉祭宮城・仙台大会(10/13~16)へ選手団を派遣した。		約161人		120人
<b>3 情報誌発行事業</b>	高齢者の生きがい・健康づくり及び社会参加活動に役立つ情報を提供するため、情報誌「あぷろく」を発行した。	年4回 各5,000部	—	年4回 各5,000部	—
<b>4 高齢者創作展開催事業 (彩の国プラチナフェスティバル開催事業)</b>	いきがい大学在校生や卒業生、シルバー人材センター等の役職員・会員、老人クラブ会員及び一般県民の絵画、写真などの作品を展示した。	9月(埼玉会館)	3,000人	9月(埼玉会館)	2,301人

#### 第5 彩の国いきがい大学の充実

超高齢社会における地域社会の活力を維持するため、「地域社会に積極的に参加し、社会に貢献する高齢者の育成」に重点を置いた講義内容を充実させました。

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
<b>1 彩の国いきがい大学の運営</b>					
(1)一年制課程	熊谷、川越、鷲宮、蕨、春日部、入間の6学園	各30日開講	780人	各30日開講	736人
(2)一年制課程【専科コース】	東松山、伊奈の2学園	各36日開講	210人	各36日開講	196人
(3)二年制課程	東松山、伊奈、熊谷、春日部の4学園	各42日開講	736人	各42日開講	678人

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
2 彩の国いきがい大学特別講座開催	いきがい大学を広くPRすることを目的に、学園応募者数の少ない地域で、概ね55歳以上の方を対象とした、特別講座を開催した。	2講座開催	300人	2講座開催	408人
3 彩の国いきがい大学聴講制度	いきがい大学の一部の講座を学生以外にも開放した。	1回(3日間)×5会場	50人	1回(3日間)×5会場	68人
4 彩の国いきがい大学パソコン研修	いきがい大学の在校生・卒業生を対象に、いきがい大学卒業生等が講師となってパソコン研修を実施した。	伊奈 17コース 熊谷 3コース 東松山 3コース	523人	伊奈 13コース 熊谷 4コース 東松山 1コース	233人

## 第6 高齢者の就業を支援する事業の推進

高齢者の就業によるいきがいつくりを目的とするシルバー人材センター及び高齢者事業団の円滑な運営を図るため、各シルバー人材センター等に対する相談事業等を充実し、各シルバー人材センター等における円滑な事業運営を推進しました。

また、技能講習の開催やシルバー派遣事業の実施等により、高齢者の就業を支援しました。

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
1 就業機会の提供					
(1)就業開拓提供事業	インターネットによる就業機会開発システム「シルバーしごとネット」を活用し、就業機会の拡大を図るとともに、広域的な仕事の需給調整を行った。また、市町シルバー人材センターに置かれた事務所において、無料の職業紹介を実施した。	各団体で通年実施	—	各団体で通年実施	—
	地域貢献活動の促進及び会員の就業機会の確保・拡大を図るため、市民後見人制度推進事業を行った。	3団体で実施	—	2団体で実施	—
(2)普及啓発事業	シルバー人材センター及び高齢者事業団の会員の増大や仕事の拡大を図るため、各種媒体を活用し、普及啓発を行った。	情報誌 4回 普及啓発月間 10月	—	情報誌 4回 普及啓発月間 10月	—
(3)安全・適正就業推進事業	シルバー人材センター及び高齢者事業団の会員の安全・適正就業を推進するため、安全・適正就業推進会議、安全・適正就業研修及び安全推進大会を実施した。	安全・適正就業推進会議 2回 安全・適正就業研修 2回 安全推進大会 1回	—	安全・適正就業推進会議 2回 安全・適正就業研修 2回 安全推進大会 1回	—
(4)一般労働者派遣事業	高齢者に対する多様な就業機会を提供するため、臨時的かつ短期的又は軽易な業務について、新座市、所沢市、ふじみ野市、さいたま市、杉戸町他において「一般労働者派遣事業」を実施した。	51団体で実施	100人	46団体で実施	311人

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
<b>2 シルバー人材センター・高齢者事業団の支援</b>					
(1)研修事業	シルバー人材センター及び高齢者事業団の円滑な運営を図るため、各団体の役職員を対象とした研修を実施した。	基本研修 3回 専門研修 5回 交流研修 1回 ブロック共催研修 18回	—	基本研修 3回 専門研修 4回 交流研修 3回 ブロック共催研修 10回	—
(2)相談事業	シルバー人材センター及び高齢者事業団の円滑な運営を図るため、団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談を実施した。	巡回相談□ 顧問弁護士相談 顧問会計士相談 顧問社労士相談	20団体 — — —	巡回相談□ 顧問弁護士相談 顧問会計士相談 顧問社労士相談	21団体 — — —
(3)国庫補助金(連合交付金)の交付	シルバー人材センターに対して国庫補助金(連合交付金)を交付した。	既設59団体	479,506千円	既設59団体	476,625千円
(4)シルバー人材センター等運営資金貸付事業	シルバー人材センター及び高齢者事業団の事業運営の円滑な推進を図るため、連合の会員であるシルバー人材センター及び高齢者事業団に対して事業運営に必要な資金を貸し付けた。	20団体	119,000千円	20団体	120,500千円
<b>3 シニアワークプログラム事業</b>	高齢者等の雇用就業機会の確保を促進するために、55歳以上の方を対象に、事業主団体等の参画の下、技能講習、職場体験及び合同面接会等を一体的に実施した。	技能講習 45回 職場体験 42回	750人 700人	技能講習 42回 職場体験 38回	740人 387人
<b>4 諸会議等</b>	シルバー人材センター連合の運営上、必要な会議を開催した。	連合会議 1回 連合理事会 2回 事務局長会議 1回 ブロック幹事会 2回 中長期計画検討委員会 3回	—	連合会議 1回 連合理事会 2回 事務局長会議 1回 ブロック幹事会 2回 中長期計画検討委員会 3回	—

## 第7 組織の活性化と職員の職務能力の向上

職場内研修や先進地視察研修など各種研修を通して、職員の育成に努めました。

実施事業	事業の内容	24年度(計画)		24年度(実績)	
		回数等	合計人数等	回数等	合計人数等
<b>職員のスキルアップ事業</b>	職員に対し、資格取得の助成や、他団体主催研修への参加を奨励し、職務能力の向上を図った。	資格取得助成 2人 外部研修参加 5回	—	資格取得助成 3人 外部研修参加 1回	—



## I-2 理事会及び評議員会の開催

### 1 理事会の開催

#### (1) 第1回理事会

日 時 平成24年5月29日(火)  
午後2時から

場 所 埼玉県県民活動総合センター 第2会議室

出席者数 理事 8人(他に委任状7人)  
監事 2人

議 案

- 1 評議員の選任について
- 2 規程の制定について
- 3 平成23年度事業報告及び決算報告について
- 4 公益財団法人への移行にあたっての「定款の変更の案」について
- 5 公益財団法人いきいき埼玉役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の制定について
- 6 公益財団法人いきいき埼玉(シルバー人材センター連合)会員規程の制定について
- 7 公益法人認定法等に基づく公益認定の申請について

議 題 1 公益財団法人移行後の事業体系について

報 告

- 1 専決処分について
- 2 外部監査結果の概要について
- 3 中期経営計画の達成状況について
- 4 公益財団法人移行後の最初の理事及び監事について
- 5 評議員選定委員会の審議結果について
- 6 公益財団法人移行に関する進捗状況及び今後の予定について

#### (2) 第2回理事会

財団法人いきいき埼玉寄附行為第29条の規定に基づく書面表決  
平成25年3月4日(月)

議 案 1 評議員選定委員会に提出する最初の評議員候補者の推薦について

### (3) 第3回理事会

日 時 平成25年3月27日(水)  
午後2時から

場 所 埼玉県県民活動総合センター 第2会議室

出席者数 理事 7人(他に委任状8人)  
監事 2人

議 案 1 公益財団法人移行後の定款案の変更について  
2 規程の改正について(平成25年4月1日付け)  
3 規程の制定・改廃について(公益法人設立の登記の日付  
け)  
4 平成25年度事業計画及び収支予算について

報 告 1 専決処分について  
2 公益財団法人移行後の最初の理事について  
3 平成24年度第2回理事会の結果について  
4 評議員選定委員会の審議結果について  
5 公益財団法人への移行について  
6 平成25年度組織について

## 2 評議員会の開催

### (1) 第1回評議員会

日 時 平成24年5月29日(火)  
午前9時30分から

場 所 埼玉県県民活動総合センター 第2会議室

出席者数 評議員 11人(他に委任状7人)

議 題 1 平成23年度事業報告及び決算報告について  
2 公益財団法人への移行にあたっての「定款の変更の案」  
について  
3 公益財団法人いきいき埼玉役員及び評議員の報酬並びに  
費用に関する規程の制定について  
4 公益財団法人移行後の最初の理事及び監事の選任につい  
て  
5 公益法人認定法等に基づく公益認定の申請について  
6 公益財団法人移行後の事業体系について

- 報 告
- 1 評議員の選任について
  - 2 専決処分について
  - 3 外部監査結果の概要について
  - 4 中期経営計画の達成状況について
  - 5 評議員選定委員会の審議結果について
  - 6 公益財団法人移行に関する進捗状況及び今後の予定について

(2) 第2回評議員会

日 時 平成25年3月27日(水)  
午前9時30分から

場 所 埼玉県県民活動総合センター 第2会議室

出席者数 評議員 10人(他に委任状8人)

- 議 題
- 1 公益財団法人移行後の最初の理事の選任について
  - 2 公益財団法人移行後の定款案の変更について
  - 3 平成25年度事業計画及び収支予算について

- 報 告
- 1 専決処分について
  - 2 評議員選定委員会の審議結果について
  - 3 公益財団法人への移行について
  - 4 平成25年度組織について

## I-3 役職員等

### 1 役員等の異動状況

(1) 役員等の状況 平成25年4月1日

理事長	関本 和正	常勤	25.4.1～	元埼玉県都市整備部副部長
業務執行理事	布藤純一郎	常勤	25.4.1～	公益財団法人いきいき埼玉事務局長 兼埼玉県県民活動総合センター所長 兼高齢者いきがい支援センター所長 兼シルバー人材センター連合事務局長
理事	恩田 徹男	非常勤	25.4.1～	元埼玉県教育局生涯学習部長
理事	野島 正也	非常勤	25.4.1～	文教大学学長
理事	上岡 悦子	非常勤	25.4.1～	彩の国コミュニティ協議会副会長
理事	桶本 佳一	非常勤	25.4.1～	公益社団法人さいたま市シルバー人材センター理事長
理事	笠原 正孝	非常勤	25.4.1～	伊奈町長寿クラブ連合会会長

※任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(以上7名)

監事	新井 修市	非常勤	25.4.1～	弁護士
監事	内田 俊二	非常勤	25.4.1～	公認会計士

※任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(以上2名)

(2) 評議員の状況 平成25年4月1日

評議員	吉野 淳一	非常勤	25.4.1～	埼玉県県民生活部長
評議員	降田 宏	非常勤	25.4.1～	埼玉県市長会常勤理事兼事務局長
評議員	石野 雅士	非常勤	25.4.1～	埼玉県町村会事務局長
評議員	田中 洋	非常勤	25.4.1～	株式会社埼玉りそな銀行県庁支店長
評議員	一柳 幸男	非常勤	25.4.1～	株式会社武蔵野銀行公務渉外部長
評議員	貝野 勝	非常勤	25.4.1～	元埼玉県信用農業協同組合連合会部長
評議員	鈴木 努	非常勤	25.4.1～	埼玉縣信用金庫理事
評議員	高橋 新吾	非常勤	25.4.1～	元埼玉新都市交通株式会社代表取締役常務
評議員	宮下 達也	非常勤	25.4.1～	株式会社埼玉新聞社取締役経営企画室長
評議員	福島 勤	非常勤	25.4.1～	株式会社テレビ埼玉常務取締役
評議員	秋本 政信	非常勤	25.4.1～	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会副会長
評議員	大鹿 良夫	非常勤	25.4.1～	埼玉県子ども会育成連絡協議会会長
評議員	菊地 英雄	非常勤	25.4.1～	ボーイスカウト埼玉県連盟副理事長
評議員	萩原 元昭	非常勤	25.4.1～	群馬大学名誉教授

※任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(以上14名)

(3)理事・監事の退任(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

関本 和正 (平成25年3月31日付け)  
秋本 政信 (平成25年3月31日付け)  
新井 修市 (平成25年3月31日付け)  
江野本啓子 (平成25年3月31日付け)  
桶本 佳一 (平成25年3月31日付け)  
恩田 徹男 (平成25年3月31日付け)  
上岡 悦子 (平成25年3月31日付け)  
後閑 小径 (平成25年3月31日付け)  
島村 功作 (平成25年3月31日付け)  
神保 国男 (平成25年3月31日付け)  
須賀 昇 (平成25年3月31日付け)  
高橋 新吾 (平成25年3月31日付け)  
戸所 邦弘 (平成25年3月31日付け)  
野島 正也 (平成25年3月31日付け)  
宮本 重雄 (平成25年3月31日付け)  
一柳 幸男 (平成25年3月31日付け)  
内田 俊二 (平成25年3月31日付け)

※平成25年3月31日付け退任は、公益財団法人への移行に伴うもの

(4)評議員の退任(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

浅川 共子 (平成24年5月29日付け)  
有山 達也 (平成25年3月31日付け)  
植田富美子 (平成25年3月31日付け)  
大鹿 良夫 (平成25年3月31日付け)  
菊地 英雄 (平成25年3月31日付け)  
久保 喜信 (平成25年3月31日付け)  
酒井 忠雄 (平成25年3月31日付け)  
鈴木 努 (平成25年3月31日付け)  
高田美恵子 (平成25年3月31日付け)  
高橋 勉 (平成25年3月31日付け)  
中田 美子 (平成25年3月31日付け)  
梨本建太郎 (平成25年3月31日付け)  
野川 和好 (平成25年3月31日付け)  
平野 初夫 (平成25年3月31日付け)  
福島 勤 (平成25年3月31日付け)  
牧 毅 (平成25年3月31日付け)

増倉伊桂衣（平成25年3月31日付け）

宮下 達也（平成25年3月31日付け）

矢部 勝雄（平成25年3月31日付け）

横田 敬二（平成25年3月31日付け）

※平成25年3月31日付け退任は、公益財団法人への移行に伴うもの

(5)理事・監事の新規選任(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

該当なし

(6)評議員の新規選任(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

有山 達也（平成24年5月30日付け） 社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会事務局長

※役職は就任時

2 役員数(平成25年4月1日現在)

項目	常勤	非常勤	計	備考
理事	2	5	7	県派遣2
監事	—	2	2	
計	2	7	9	県派遣2

注:理事7のうち、理事長1、業務執行理事1

3 職員数(平成25年4月1日現在)

項目	人数	備考
事務局長、埼玉県県民活動総合センター所長、高齢者いきがい支援センター所長、いきがい大学伊奈学園所長、シルバー人材センター連合事務局長	1 (4)	県派遣 1
管理部長、事業部長、高齢者いきがい支援センターいきがい大学・支援部長、いきがい大学東松山学園所長、いきがい大学熊谷学園所長、いきがい大学春日部学園所長及びシルバー人材センター連合事務局高齢者就業促進部長	6 (1)	県派遣 4
課長及び経営企画幹	9	県派遣 2
主査	8	
一般	12	県派遣 1
小計(常勤職員計)	36 (5)	県派遣 8
専門員(短時間勤務職員)	34	
合計	70 (5)	県派遣 8

注:カッコ内は兼務のため外数。合計数には含まない。

- ・事務局長、埼玉県県民活動総合センター所長、高齢者いきがい支援センター所長及びシルバー人材センター連合事務局長については業務執行理事兼務
- ・シルバー人材センター連合事務局高齢者就業促進部長については高齢者いきがい支援センターいきがい大学・支援部長兼務